

観光振興（三嶋大祭り）

アナ： 「市長が語る2024三島」第19回の今日は、三嶋大祭りについてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： さて、三島の夏の風物詩「三嶋大祭り」がいよいよ開催目前です。

コロナ禍により中止となった年もありましたが、見事に復活を遂げ、一昨年、昨年と、大変な盛り上がりを見せました。

今年も多くの方が、お祭りを心待ちにされていらっしゃるのではないかと思います。改めてどのようなお祭りなのか教えていただけますでしょうか。

市長： はい。三嶋大祭りは、毎年8月15日から17日までの3日間にわたり開催され、三嶋大社から三島広小路駅までの約700メートルの大通りに多くの露店が並び、歩行者天国となった通りには山車が繰り出し、しゃぎりを演奏するなど、街中がお祭り一色に染まります。

古くから伊豆国一ノ宮である三嶋大社の例祭と、地域の行事が重ねて行われてきた経緯があり、現在では、例年50万人の方が訪れる三島市最大のイベントとなっております。

1日目は山車としゃぎりの日、2日目は伝統芸能の日、3日目は踊りの日というように、日によってテーマが変わるのも特徴といえます。

アナ： 日によってテーマが変わるのも面白いですね。

ちなみに、今年一番の見どころを教えてください。

市長： はい。一番の見どころは、なんといっても2日目の16日に行われる源頼朝公旗挙げ行列です。

毎年、芸能人の方が頼朝役を務めてくださり、大変盛り上がるイベントですが、今年の頼朝役は、元力士という経歴を持つ、人気俳優の「富栄ドラム（とみさかえ どりむ）」さんが務めてくださいます。

持前のパワーで、行列を大変盛り上げていただけると思いますので、楽しみにしてお待ちいただければと存じます。

アナ： そうなんですか。それは、とても楽しみです。

市長： はい。また、頼朝公旗挙げ行列だけでなく、各日のクライマックスに、当番町によって繰り広げられる山車の競り合いも必見です。

毎年、当番町同士の意地と意地がぶつかり合うしゃぎりは、圧巻の光景です。

アナ： 当番町の競り合いは、毎年すごい迫力ですね。

皆さんのお祭りに対する熱い気持ちがひしひしと伝わってきます。

その他に、今年の大祭りでの新たな取り組みなどがございましたら教えて

ください。

市長： はい。今年の「三嶋大祭り」では、新しい催しとして「大盆踊り大会」の開催が予定されております。

大祭りの最終日である17日に、三嶋大社宝物館前の盆踊り櫓（やぐら）を中心に、農兵節・みしまサンバ・みしまコロッケ音頭や盆踊りの定番曲などを、参加者皆さんで輪になって踊るものです。

参加は自由となっておりますので、市民の皆様はもちろんのこと、市外からお越しの皆様やインバウンドでお越しの皆様にも、飛び入りでご参加いただき、思い出に残る大祭りにしていただければと存じます。

アナ： 今年の大祭りは観るばかりでなく、みんなで一緒に踊って楽しい思い出をつくっていただきたいですね。

最後に、お聞きの皆様へのメッセージをお願いします。

市長： はい。お祭り当日は猛暑が予想されます。

御来場の際は、こまめに水分、塩分、休憩をとっていただくなど、十分な熱中症対策をお願いいたします。

体調管理に十分お気を付けいただきながら、

「三島の夏」を存分に満喫していただければ幸いです。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。